

檀家 各位

令和 4年盛夏

猛威をふるったコロナもやっと下火になってきたようです。檀家の皆様方には例年通り棚経と盆施餓鬼の2つのおまいりをお願い致したいと存じます。各家の仏壇の前でつとめるのが棚経、お寺へお参りくださって供養するのが盆施餓鬼です。

棚経 (たなぎょう)

8月 日 午前 午後 時 分 ころ

日時が空白になっているが、今年は棚経をつとめたい方はお寺までお電話ください。

盆施餓鬼 (ぼんせがき)

※ 区分けについては別紙案内をお読みください。

盆施餓鬼は、皆様方につながるご先祖様すべての祖霊に飲食を施し供養する法会です。この施餓鬼の功德により、ご先祖の加護を受け家族は除災招福・延命長寿になるといわれます。

四観音 8月9日 (提灯点灯 6時半～8時半)

毎年観音様のお志をありがとうございます、一昨年からは年末にお志をお願いしています。



西用寺の本堂へ入って、左手奥に西国33観音がまつられています。これは天保7年(1836)、当時の西之口村の住民100余人を中心とする近隣住民の浄財で安置されたものです。当時の寄付者名が台座に記されています。

8月9日の夜にはどうぞお参りくださって観音様の慈悲をいただいでください。

お盆の供養

お盆はご先祖様、亡き父母・兄弟たちが里帰りする日です。心からお迎えしたいものです。ご先祖様は、その末裔である現世の私達が無事安楽にすごせるようひたすら願っていてくれます。仏壇・仏具を清め、位牌もきれいにし、ご先祖さまを迎えてください。

13日 迎え盆 (精霊迎え)

ご先祖様を迎える日です。

16日 送り盆 (精霊流し・灯籠流し・送り火)

ご先祖様を送る日です。

お墓参り

西之口の共同墓地で一番多いのは「先祖代々之墓」ついで多いのは「〇〇家之墓」という文字です。先祖様に感謝の気持ちをささげ、子々孫々まで家が続くようにとの、建てた人の願いを受け継ぎたいものです。また「南無阿弥陀仏」などお経に由来する文字も相当数あります。自分た

ち一族を見守ってくださるようにと仏様への願いをこめて建てられたものと思います。

塔婆を立てるのは先祖様への便りであり、先祖に捧げることのできる最大の善行とされています。この供養は故人の成仏を願うだけでなく、同時に供養した人にもその功德が回ってくるといいます。

子供は親の鏡といわれます。手を合わせて拝む親の姿を見て育った子供は、親の亡きあとと同じようにご先祖様を拝むことができる人間に成長していきます。

共同墓・永代供養

墓じまい、仏壇のお精抜きについてきかれることも時にはあります。寺の住職としてはいつまでもお墓にお参りし、仏壇に手を合わせていただきたいのが本音ですが、いつまでも続けられない状態になったときにはお寺の方へ相談して下さい。寺にはお骨を収める共同墓、永年にわたって寺で供養を続ける永代供養の制度があります。

西用寺 HPの開設

檀信徒の皆さんに読んでいただこうとHP（ホームページ）を作りました。寺院の沿革、本堂・仏様、葬儀、年回法要、境内地・墓地、延命地藏堂、寺院の建物・什物等、年中行事、甘露院回想の9項目からなっています。そのほか、年中行事的な催しの案内と住職個人の日常生活での所感を書いた部分からなっています。寺の建物は目にするのもあると思いますが、檀信徒皆さん方の寺です。是非HPをご覧になってみて下さい。この後も内容は追加したり書き改めしたりしますので、1、2ヶ月に1回はのぞいてみて下さるとありがたいです。

HP（ホームページ）を開くためには [西用寺](#) と入れて検索するか、

URL（アドレス） saiyouji-chita.net でみて下さい。



スマホ・タブレットの方はQRコードからどうぞ。

お知らせ 電話番号について

今まで西用寺には3本の電話番号がありました。経費節約のため近々0569-42-0884一本になります。堀田個人用に使っていた42-2946とFAX用に使っていた42-0869は使えなくなります。各種のご用はすべて上記0569-42-0884へお願いします。

追伸

今年も西用寺護持会費（4000円）と四観音の志（1000円程度）を冬にお願い致します。さらにもう一つ昨年からの開宗850年事業費の協賛金（1000円）、計6000円程度を年行司さんを通じて、または郵便振り込みでお願いしています。なにとぞご協力の程宜しくお願い申し上げます。

西用寺 （0569-42-0884）